

二酸化炭素(CO2)排出量計算表(その1)

別添

登録番号	
導入車両車名	
導入車両型式	

社名	()
担当者名	
電話番号	

(CNG車(圧縮天然ガス自動車))

* 社名の()はリース貸渡し先を記載

	導入車両のH28年度の使用状況		導入車両のH29年度の使用状況		備考
使用開始日					新規登録日付もしくはそれ以降に運送事業での利用を開始した日(いずれか遅い方)の日付を記入してください。
導入車両の各年度の走行距離(km)①		km		km	28年度は補助対象車両の登録日から29年3月31日までの走行キロ(注2)を記入してください。 29年度は29年4月1日から平成30年3月31日までの走行キロ(注2)を記入してください
導入車両の各年度の燃料使用量(Nm3)②		Nm3		Nm3	28年度は補助対象車両の登録日から29年3月31日までの燃料使用量(注2)を記入してください。 29年度は29年4月1日から平成30年3月31日までの燃料使用量(注2)を記入してください
導入車両の年間平均燃費③	#DIV/0!	km/Nm3	#DIV/0!	km/Nm3	①÷②により導入車両の平均燃費が計算され表示されます。
導入車両におけるCO2排出係数④	2.23	kg-CO2/Nm3	2.23	kg-CO2/Nm3	排出係数とは、単位の燃料当たりから何kgのCO2が排出されるかを計算するための係数です。天然ガスは2.23kg-CO2/Nm3です。
導入車両の年間CO2排出量⑤	#DIV/0!	tCO2	#DIV/0!	tCO2	②×④÷1,000により導入車両の年間CO2排出量(年度途中で導入の場合は、そこから年度末までの間のCO2排出量)が計算されます。
CO2削減量	#DIV/0!	tCO2	#DIV/0!	tCO2	CNG車においては本来、標準車両における都市間走行主体使用時のCO2排出量と比較する必要がありますが、本表ではCO2削減効果は標準車両比10%と仮定し、⑤×(10/(100-10))により算定します。

注1. 上記様式は、当該年度末及びその後の1年間について必ず作成し、そのコピーを交付規程様式第15事業報告書と共に提出してください。

注2. 燃費改善効果及び二酸化炭素削減効果を把握することが、当該補助金の目的であり、事業報告書を提出しない場合は、補助金の返還もあり得ます。

注3. 補助対象車両が複数の場合は、本表を台数分提出してください。